

先進地事例調査研究

生活環境委員会

委員長 乃美 晴一

平成26年1月14日～16日

東京都 八王子市

◆「効果的な特定健診受診向上施策」について

大竹市の国民健康保険加入者で特定健診（いわゆるメタボ健診）の受診率が17.5%と低迷していることから、受診率46.7%高い受診率を維持している八王子市で健診率向上の方策を調査しました。まず八王子市では健診が無料で受けられることから他の診察で医者にかかった場合、合わせて受診していること。また受診を促す受診票に過去の診断結果を添付し健康状態を継続的に管理できるなどの工夫がなされていました。また啓発パンフレットもマーケティング手法を用い生活習慣に合わせたものを作成するなど相当な努力が何えましました。本市の施策に活用し市民の健康増進の一助として活用させていただきます。

東京都 北区

◆「介護と医療の連携による地域包括ケアの推進事業」について

地域包括ケアシステムの先進地である北区でこれまでの取り組み状況と課題を勉強しました。地域包括支援センターを分かり易い呼称である「高齢者あんしんセンター」として設置し、「高齢者あんしんセンターサポート医」を配置、身寄りのない認知症の方への初動対応や、センター職員への助言を行っていることに先見性を感じました。本市では異業種間の交流事業が始まっていますが、在宅医療をめぐる課題は今後大きなものとなってきます。今後の施策に今回の調査を活かせるよう更に研究を進めます。



北区役所

東京都 足立区

◆「老朽家屋対策事業」について

近年本市でも散見される老朽化した空家の効果的な利用を考える一環として、老朽家屋を行政主導で解体している足立区で、実際の課題を調査しました。足立区では空家かどうかの判断は関係なく、老朽化して危険な状態にある家屋について指導しているとのことでした。東日本大震災以降、近隣、通行人等に危険が生じる可能性のある家屋を専門家の目で検証し、今すぐ対処が必要な家屋を抽出し、所有者と協議し解体への補助金制度を設け解体へと誘導していました。相続などの問題で所有者探しが難しい場合などがあります。が、必ず所有者と面談しているとのこと。また、あくまで所有者の意思で解体除却することを学習しました。固定資産税の問題等国で議論されていますが、本市の空家の活用策を今後も研究していきます。

千葉県 千葉市

◆「まちづくり支援システムを活用したまちづくりの推進」について

地域別に将来人口、高齢化率を推計し、今から地域でどのようなことを準備し、実行していかななくてはならないかを、地区住民のみなさんに考えて頂く手法を調査しました。

広報広聴特別委員会

委員長 乃美 晴一

平成26年2月6日～7日

市議会では議会報告会を早い段階で実施すべく検討をしています。

その具体的な検討を本特別委員会で取り組むこととなり、先進地の取り組み方策・課題などを調査しました。

大分県 佐伯市

議会基本条例を制定後に議会報告会を実施。年2回開催を原則に、議員を5班に分け、地域で開催。

防災無線を利用するなどPRしているが近年参加者が減少しています。

山口県 山陽小野田市

年4回定例会開催ごとに実施。議員を3班に分け、6か所で開催。議会報告会を基本条例に先駆けて実施。「まずは実施してみよう」との思いから要綱を作成しています。

報告会以外にも懇談会、出前講座等を開催し、

広聴機能を充実させて

いました。



山陽小野田市議会にて